



木城町

Kijo town Publicity papers

# きじょう

木城町広報誌

平成29年7月号 No.368



## INDEX

木城えほんの郷だより町の人口	裏表紙
いぶきNo.116	P 13
まちの話	P 12
人間萬歳・平成29年度行政事務連絡員の紹介	P 11
宮崎県地域づくり奨励賞受賞 <small>（木城町地域婦人連絡協議会）</small>	P 10
キヤノン共生の森植樹祭	P 10
平成29年度きじょう住民提案型まちづくり事業の募集について	P 9
木城町消防団の紹介コーナー	P 8
災害に備えて災害等応援協定締結	P 6～7
<b>【特集】</b> 木城町国民健康保険の現状と課題	P 2～5

## 平成29年度 宮崎県地域づくり顕彰授賞式



宮崎県地域づくり奨励賞受賞  
～木城町地域婦人連絡協議会～



1 平成28年度

木城町国民健康保険特別会計

決算見込

特集

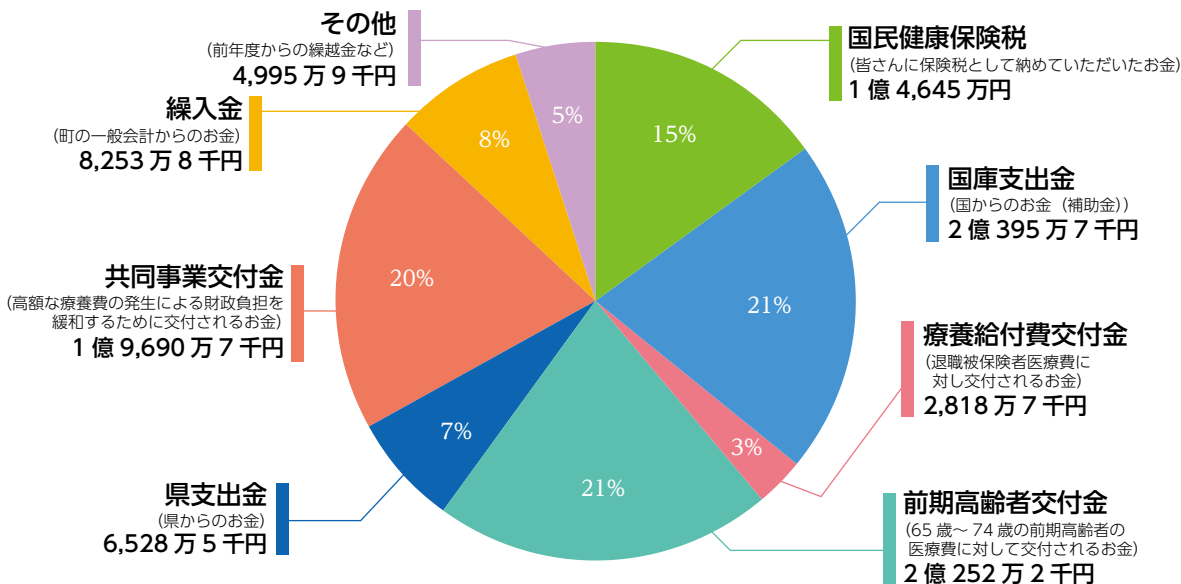
木城町国民健康保険の現状と課題

○木城町国保の状況 (平成29年3月31日現在)  
 ・加入者数 1,562名 ・木城町の人口に占める割合  
 ・世帯数 898世帯 ・人口比:29.3% (世帯比:39.5%)

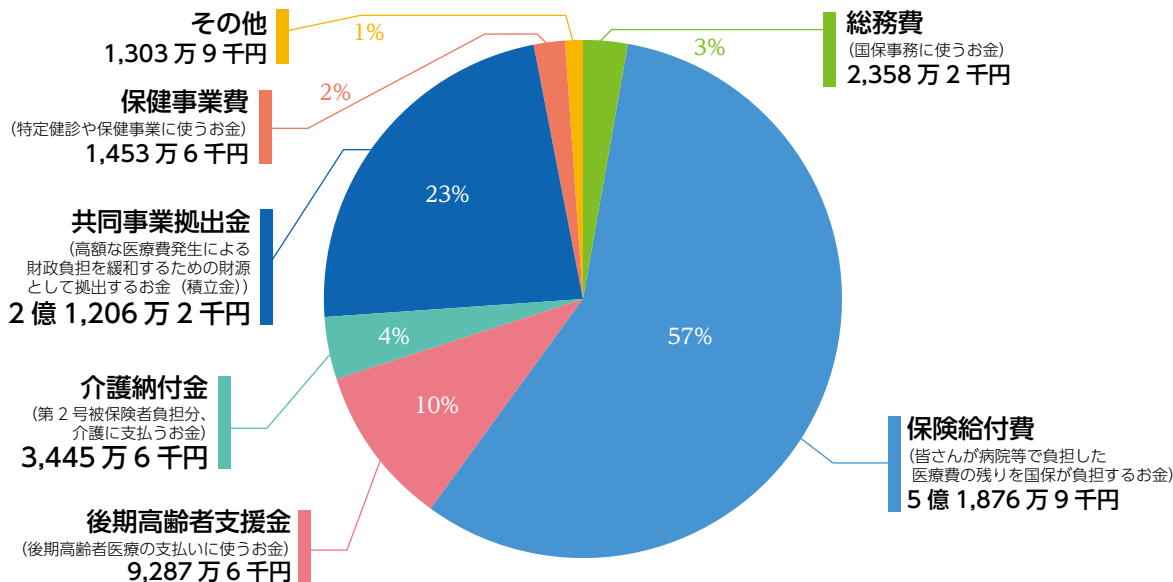
○歳入 9億7,580万5千円  
 ○歳出 9億932万円  
 の見込みとなりました。

歳入・歳出ともに総額は昨年度より減少しており、  
 すが、歳入から歳出を差し引いた形式収支において、  
 6,648万円ほどの赤字となる見込です。  
 内訳を見ますと、歳入では国民健康保険税や前期高齢者交付金、県支出金が伸びる一方、国庫支出金や療養給付費交付金、共同事業交付金等が減少しています。また、歳出においては、医療費の伸びが抑えられた結果、保険給付費が減少した他、共同事業拠出金も減少しています。このため、平成28年度当初予算にて予定していた基金(貯金)取崩しは実施しておりません。

歳入 9億7,580万5千円



歳出 9億932万円



## 木城町国民健康保険の課題

### (1) 国民健康保険の加入者の状況について

少子高齢化の進む人口構造や社会保険への加入状況により、国保の加入者（以下、被保険者）は年々減少する一方、65歳以上の被保険者の占める割合は増加しています（表1）。

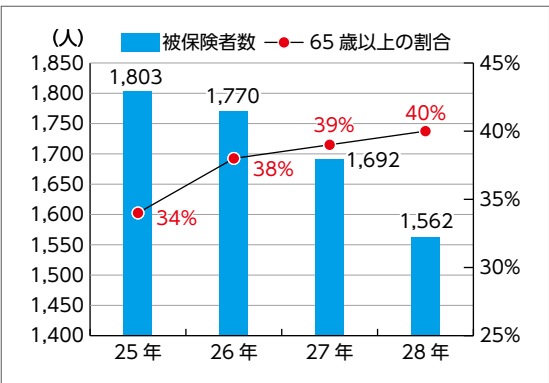


表1 年度末被保険者の数

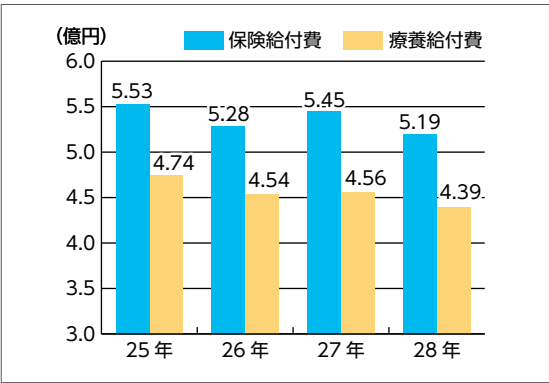


表2 保険給付費の支払状況

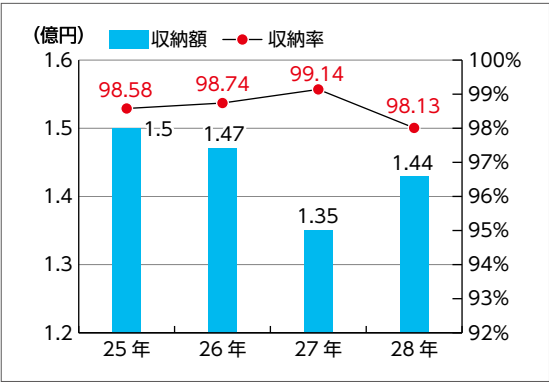


表3 国民健康保険税の収納状況

このため、皆様一人ひとりが納めていただく国民健康保険税が益々貴重な財源となるとともに、一人でも高額な医療費がかかる病気になると、被保険者一人当たりの負担が大きくなってしまい、国民健康保険税の引き上げも考えられます。

そうならないためにも、国民健康保険税は期限内に納税していただくとともに、被保険者一人ひとりが適切な医療機関の受診を心がけ医療費の節約に努めることが重要です。また、病気は自覚症状なく進行することも少なくありません。特定健診は年に1回必ず受診しましょう。

### (2) 保険給付費の支払い状況について

木城町の国民健康保険では平成28年度の1年間で、約5億2千万円もの保険給付費を支出しています（表2）。

この中には、皆様が医療機関の窓口で支払った一部負担金の残り（療養給付費）の他、1ヶ月に高額な医療費がかかったときの高額療養費などが含まれます。

平成28年度は前年度より医療費の伸びは抑えられた結果、支出額が少なくなっていますが、被保険者の年齢の高齢化や医療の高度化（高度な手術を伴う入院や高額な薬剤の出現）によって、今後も医療費が伸びる傾向は変わりありません。

医療費を抑制するためにも、一人ひとりが適正な受診を心がけ、ジェネリック医薬品を積極的に利用するなど、医療費の適正化にご理解とご協力をお願いします。

### (3) 国民健康保険税の収納状況について（表3）

今まで見てきましたとおり、加入者がますます少なくなっていく中で医療費の支払いが高騰している状況では、皆様が納めていただく国民健康保険税が支払いの財源としてとても重要です。

木城町では近年、経済状況等により課税総額が減少していましたが、平成28年度については収納額が若干回復しています。また、収納率については、保険税の納付意識の高まりにより、98%以上の高い収納率となっておりますが、依然として滞納も見られます。

## 国民健康保険へ加入されている皆様へのお願い

そこで、木城町国保では、期限内納税者との公平性を確保するため、滞納者に対する給付の制限や、給与や預金の差押の他、捜索による動産差押、公売会等による換価を行っています。

所得は正しく申告し、国民健康保険税は期限内に納付していただくようお願いいたします。

木城町国民健康保険の状況が分かりただけだけではいけません。そこで、国民健康保険へ加入されている皆様へのお願いがあります。皆様一人ひとりが健康でありつづけ、国民健康保険が健全に運営できるためにも、以下のポイントをご覧になり、できることから実践をお願いいたします。一人ひとりのちょっとした心がけも積み重なると大きな節約となります。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

### ● 特定検診・特定保健指導で生活習慣病を予防しましょう。

○健康マイレージポイントも貯まります！

### ● 上手な薬との付き合い方

○かかりつけ薬局を決め、ジェネリック医薬品を利用しましょう。

詳しくは、薬局・薬剤師へご相談ください。

### ● 上手な受診で医療費を節約しましょう。

○時間外、深夜受診、重複受診を避け、安心して日ごろから相談できるかかりつけ医を持ちましょう。

### ● 生活習慣を改善しましょう。

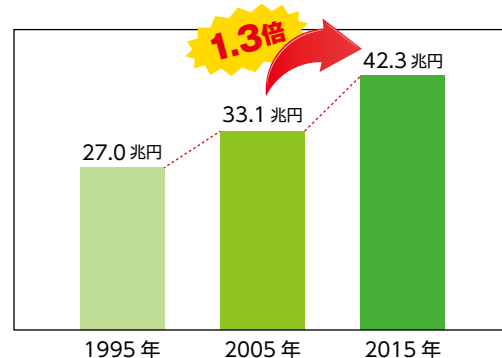
○食事の内容を見直し、からだを積極的に動かしましょう。



# 平成30年4月から 国民健康保険制度が変わります

この10年で、  
70歳以上の高齢者数は**1.3倍**に、  
国民医療費は**1.3倍**になりました。  
団塊世代が全員75歳以上になる2025年には、  
国民医療費の総額は  
**61.8兆円**にもなる見込みです。

【国民医療費 10年ごとの推移】



**見直しによる主な変更点**

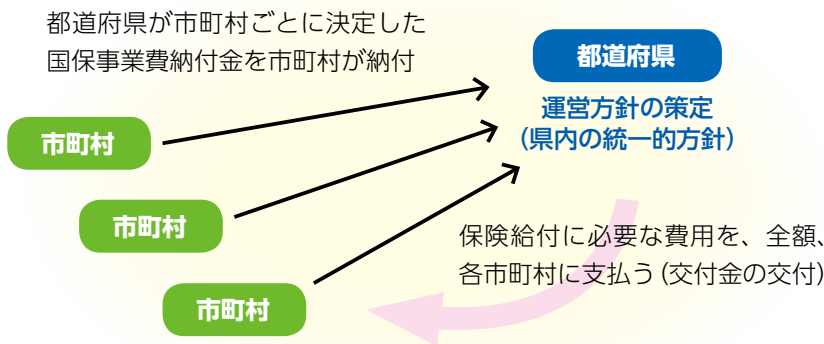
- ▼平成30年度から、都道府県も国民健康保険の保険者となります。(資格や保険料の賦課・徴収等の身近な窓口は、引き続きお住まいの市町村です。)
- ▼平成30年度以降の一斉更新から、新しい被保険者証等には、居住地の都道府県名が表記されるようになります。

**見直しの柱**

- ▼国の責任として約3,400億円の追加的な財政支援(公費拡充)を行います。
- ▼都道府県と市町村がともに国民健康保険の保険者となり、それぞれの役割を担います。

〈見直しの背景〉  
国民健康保険制度は、日本の国民皆保険の基盤となる仕組みですが、「年齢構成が高く医療費水準が高い」「所得水準が低く保険料の負担が重い」「財政運営が不安定になるリスクの高い小規模保険者が多く、財政赤字の保険者も多く存在する」という構造的な課題を抱えていました。

国民皆保険を将来にわたって守り続けるため、平成30年4月から、これまでの市町村に加え、  
**都道府県も国民健康保険制度を担うことになりました**



## 都道府県と市町村の役割分担

都道府県の主な役割	市町村の主な役割
・ 財政運営の責任主体	・ 国保事業費納付金を都道府県に納付
・ 国保運営方針に基づき、事務の効率化、標準化、広域化を推進	・ 資格を管理 (被保険者証等の発行)
・ 市町村ごとの標準保険料率を算定・公表	・ 標準保険料率等を参考に保険料率を決定 ・ 保険料の賦課・徴収
・ 保険給付費等交付金の市町村への支払い	・ 保険給付の決定、支給

# 国民健康保険制度の見直しによる効果

## 効果①

### 都道府県内での保険料負担の公平な支え合い

#### 新しい財政運営の仕組み

- 都道府県内で保険料負担を公平に支え合うため、都道府県が市町村ごとの医療費水準や所得水準に応じた国保事業費納付金（保険料負担）の額を決定し、保険給付に必要な費用を全額、保険給付費等交付金として市町村に対して支払います。これにより、市町村の財政は従来と比べて大きく安定します。
- 都道府県は、市町村ごとの標準保険料率を提示（標準的な住民負担の見える化）し、市町村間で比較できるようにします。

#### 保険料の賦課・徴収

- 市町村はこれまで個別に給付費を推計し、保険料負担額を決定してきましたが、今後は都道府県に納付金を納めるため、都道府県の示す標準保険料率等を参考に、それぞれの保険料算定方式や予定収納率に基づき、それぞれの保険料率を定め、保険料を賦課・徴収します。

## 効果②

### サービスの拡充と保険者機能の強化

- 都道府県は、安定的な財政運営や効率的な事業運営の確保のため、市町村との協議に基づき、都道府県内の統一的な運営方針としての国民健康保険運営方針を定め、市町村が担う事務の効率化、標準化、広域化を推進していきます。
- 広域化により、平成30年度から、同一都道府県内で他の市町村に引越した場合でも、引越前と同じ世帯であることが認められるときは、高額療養費の上限額支払い回数のカウントが通算され、経済的な負担が軽減されます。
- 今後、市町村は、より積極的に被保険者の予防・健康づくりを進めるために様々な働きかけを行い、地域づくり・まちづくりの担い手として、関係者と連携・協力した取組を進めます。

国民健康保険は、国民皆保険の最後の砦<sup>とりで</sup>です。

持続可能な社会保障制度の確立を図るため、

平成30年度からの制度見直しにご理解、ご協力をお願いいたします。

わからないこと、困ったことがあれば、ご相談ください。

国民健康保険の窓口は、平成30年4月以降も引き続きお住いの市町村です。

国民健康保険制度に関してご不明な点がございましたら、  
木城町町民課（電話 32-4736）までお問合せください。

# 災害に備えて

台風や洪水シーズンになります。いざという時のための備蓄品についてお知らせします。

## 木城町では

災害が発生して、避難所開設時に使用するため、備蓄倉庫3棟・3公民館に、水や食料を備蓄しています。  
備蓄内容は、水6,470ℓ・主食4,150食・副食4,500食・ミルク224缶です。  
また、毛布や生活用品も備蓄しています。

防災倉庫

備蓄品

## 家庭では

### 非常持ち出し品を準備しておきましょう

避難の際に、できるだけ身軽に行動できるようにするため、非常持ち出し品は避難に必要な物品や貴重品に限りましょう。非常持ち出し品はリュックや袋に入れ、避難時にすぐに持ち出せるように準備しましょう。

### 非常用持ち出しリスト

- 貴重品・現金（小銭が重宝）・通帳・印鑑など
- 健康保険証（コピー可）・住民票（コピー可）
- 携帯ラジオ・懐中電灯・電池
- 携帯電話の予備充電
- ヘルメット・運動靴・笛
- 日用品（メガネ・薬・生理用品）
- 小物（筆記用具・ビニール袋・軍手・ライター・万能ナイフ）
- 非常食（乾パン・アメ等）・飲料水



## 備蓄品を準備しておきましょう

災害発生後から数日は物流が止まり、普段通りに生活できないことが考えられます。救援活動が受けられるまでの間の水や食料などを各家庭で日頃からしっかりと蓄えておく必要があります。**3日以上以上の備蓄は必要です。**

### 備蓄品リスト

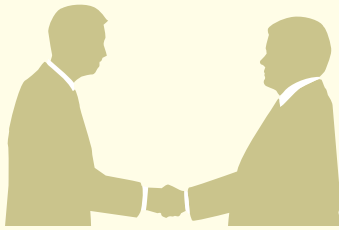
- 飲料水 (1人1日3リットルは必要)
- 食料 (缶詰・レトルト食品・乾パン・栄養補助食品など)
- 燃料 (カセットコンロ・カセットガス)
- 簡易トイレ    ラップ・缶切り
- 毛布・寝袋    洗面用品等



## 災害等応援協定締結

平成29年5月2日(火) 役場応接室

本町で起こる大規模な災害や家畜伝染病発生時の迅速な対応につなげるために、町内の建設関連業者5社(有福洋建設、(株)桑原建設、森ガス水道工事(有)、川野建設、(株)ヒズ)でつくる木城町建設グループ(福島秋男会長(中椎木))と「災害等応援協定」を結びました。町が地元の建設グループと防疫を含めた協定を結ぶのは県内で初めてです。これまでも、個別に対応していたいていましたが、締結により人員確保を含めてよりスムーズに支援を受けられる態勢が整いました。





# 木城町消防団の紹介コーナー

消防団は、仕事を持ちながら、火災・台風等自然災害・捜索などに出勤し、地域における安心・安全を守る活動を担っています。広報きじょうでは、今年一年間かけて木城町消防団を紹介していきます。

今回は、本部、  
第1分団第1部です。

## ■ 本 部

〔団員〕22名 〔管轄区域〕町内全域

木城町消防団本部は、役場職員で構成されている部で、現在22名の団員が在籍しており、町内全域を管轄しています。定例会を毎月1回開催し、情報の伝達や共有を図り、団員が共通意識を持つ取り組みを行っています。

また、本部は全員が同じ職場で、敷地内に機庫もあることから、火災や災害時の初動の速さを求められています。

近年、大きな地震や集中豪雨での災害が増えてきており、私たち消防団員も日頃から災害時の体制や動きをこれまで以上に考えていくことが重要だと思っております。

木城町の本部団員として、町内各部の手本となり、町民の方が安心して毎日過ごせるよう、日々の訓練に励んでいきます。

部長 巽 雄司



## ■ 第1分団第1部

〔団員〕11名

〔管轄区域〕田畑、一向瀬、重木

木城町消防団第1分団第1部は、『田畑・一向瀬・重木』に住んでいる若人11人で構成しています。

私たちの部は、酒をめったに飲まない事を基本理念とする、町内消防団で最も体に優しい部であります。

そんな1部に入りたい!入っても良いよ!という方の募集も行っていきますので、お近くの消防団員若しくは役場消防団担当まで連絡をお願いします。

また、11名の部員の中で3名が独身ですので、写真を見て『良い男だなあ〜!』と思われましたら、直感を信じて役場消防団担当まで連絡をよろしくお願いします。

部長 神田 修



**木城町では、消防団員、女性消防団員を募集しています!**  
住民の生命と財産を守るため、皆様のご支援とご協力をお願いします。

【お問合せ】総務財政課 電話 32-4725





# 平成 29 年度 きじょう住民提案型 まちづくり事業の募集について

## 1 目的

木城町では、住民や団体による地域活動への熱意や発想の柔軟性を生かした提案事業を募集し、採択された事業の実施を支援いたします。

この事業は、住民主体のまちづくりを推進することを目的とし、住民や団体が提案する公共・公益性の高いまちづくり事業に対し補助金を交付するものです。

## 2 事業対象団体

提案することができる住民団体は、次の要件を満たしていなければなりません。

- (1) 町内において活動を行い、構成する会員が5名以上であること。
- (2) 組織の運営に関する規約等があること。
- (3) 適正な会計処理が行われること。
- (4) 政治、宗教又は営利を目的とした団体でないこと。
- (5) 団体の構成員が、暴力団関係者若しくは暴力団員と密接な関係を有する者でないこと。

## 3 対象事業

- (1) 公益的な事業であって、事業を実施することにより地域課題や行政課題の解決が図られ、施策として展開できるもの。
- (2) 町民の満足度が高まり、具体的な効果や成果が期待できるもの。
- (3) 行政と町民が協働で実施することにより町の自治力の向上が期待できるもの。
- (4) 町内で活動する団体がイベント等を通して、魅力ある地域づくりの推進に取り組む事業であること。

## 4 対象事業とならない事業

- (1) 営利又は政治、宗教若しくは選挙活動を目的とするもの。
- (2) 特定の個人又は団体のみが利益を受けるもの。
- (3) 施設等の建設又は整備のみを目的とするもの。
- (4) 学術的な研究を目的とするもの。
- (5) 親睦を主な目的とするもの。
- (6) 既存の補助制度で対応できるもの。
- (7) 公序良俗に反するもの。

## 5 事業期間

事業認定後～平成 30 年 3 月 31 日 (土)

## 6 募集締切

平成 29 年 8 月 18 日 (金) ※締切後に審査会が行われます。

## 7 補助対象経費

対象となる事業の補助金は、1 事業あたり単年度 50 万円を限度とし、補助対象となる経費は、次の表のとおりです。

費 目	説 明
人 件 費	事業のために雇用した者の人件費で補助対象経費総額の 20% 以内とする。団体の構成員に係る人件費は対象外とする。
報 償 費	外部講師、専門家への謝礼、調査、研究等に係るものに限る。
旅 費	調査、研究、研修に係るものに限る。
食 料 費	会議、研修会に係るお茶代等に限る。親睦、懇親を目的としたものは対象外とする。
需 用 費	事業のために必要な文具類、衣装等の消耗品費、チラシ・パンフレット・報告書の印刷製本費に限る。団体の構成員の車両燃料代、事務所の光熱水費、修繕費は対象外とする。
役 務 費	事業のための郵送料、物品の送料、手数料、通信料、保険料に限る。
使用料・賃借料 委 託 料	事業のための会場使用料、器具類の賃借料、音響設備、テント設営委託料等に限る。
備 品 購 入 費	事業のために必要不可欠なもので長期に使用する物品・パソコンソフト等の購入費に限る。
そ の 他	その他町長が認める経費

## 8 補助対象期間

補助対象期間は、1 事業につき 3 年間の継続実施を認めるものとする。

## 9 応募の手続き

提案事業の応募の手続きにおいて、提出いただく書類は、以下の通りです。  
【提出書類】

- (1) きじょう住民提案型まちづくり事業提案書
- (2) 計画書 (事業が複数年度になる場合は年度別計画書)
- (3) 収支予算書 (事業が複数年度になる場合は年度別計画書)
- (4) 団体の定款、規約又は規則等の写し及び団体構成員名簿

※事業提案書は、木城町ホームページからダウンロードしてください。

任意  
様式

## 10 その他

その他にも、各種要件があります。詳しくは、木城町ホームページでご確認ください。

【提出先・お問合せ先】 〒884-0101 木城町大字高城1227番地1 木城町役場 まちづくり推進課 TEL 0983-32-4727 FAX 0983-32-3440

# キヤノン 共生の森植樹祭

平成29年4月29日(土) キヤノン共生の森(中原)

県が進める「企業の森づくり」協定を県、石井記念友愛社、児湯広域森林組合と結んだ宮崎ダイシンキヤノン(株) (6月1日付けで宮崎キヤノン(株)に社名変更) は、4月29日(土) に、石井記念友愛社の所有林で「キヤノン共生の森」の第1回植樹祭を行いました。同社員とその家族、石井記念友愛社、町、県関係者約350人が参加しました。

式典で桑原初美社長が「子どもたちの環境学習、地域の方々の憩いの場として活用してほしい。」と挨拶され、6本の記念植樹に続き、参加者が約1.4haの土地にくわで穴を掘り、ヤマザクラ、クヌギ、クスノキ、アカガシなど約2千本を植樹しました。



木城町地域婦人連絡協議会

## 宮崎県地域づくり 奨励賞受賞

町長報告

平成29年5月9日(火) 役場応接室

木城町地域婦人連絡協議会(甲斐恵子会長(出店))が、第22回宮崎県地域づくり奨励賞を受賞し、5月9日(火)に県庁講堂で授賞式がありました(表紙参照)。長年に渡り、木城町の女性団体として地域のボランティア活動、交通安全推進活動、青少年健全の推進等多方面に渡り地道に活動を行うなど、本町の活性化に貢献した功績が認められました。地域女性の力の集結が、今回の受賞理由となりました。おめでとうございます。



# 人間 ばんざい 萬歳

にんげん

NINGEN BANZAI



おの ゆう へい  
**小野 祐平**さん (24 歳)  
 川原

- お仕事 / 営業
- 趣味 / サッカー
- 家族構成 / 両親・妹・祖母

このコーナーは、毎回町内在住・勤務されているいろいろな方々に登場していただきます。  
 さて、今回登場するのは、この人！

## ● 自己紹介

仕事で営業を頑張っています。  
 (これから暑い時期になりますので、体調管理に気をつけてください。)

## ● 最近の出来事やニュースでうれしかったこと

トランプ大統領のやる事がこわい。  
 (アメリカ大統領は世界に影響があるので、日本人の私達も言動が気になりますね。)

## ● その他・・・コメント

とにかく、いろいろ頑張ります。  
 (取材も丁寧に対応してくれた好青年。これからもお仕事、趣味に頑張ってください。)

## 平成 29 年度 行政事務連絡員の紹介

平成 29 年度 行政事務連絡員のみなさんです！ 1 年間よろしくお願ひします。

(敬称略)

番号	行政区域	氏名
1	田畑	河野 浩之
2	一向瀬	三隅 信一
3	重木	田中 義彦
4	四日市	桑原 幸一
5	池田住宅	稲田 一実
6	出店北	宮崎 勝正
7	出店東	函師 和博
8	出店西	間寺田辰郎
9	出店南	河野 浩一
10	中椎木	吉野 清二
11	陣之内	齋藤 誠
12	牧之内	伊波 良実
13	中原	平野 大輔
14	溜水	武吉 昌秀
15	百合野	岩切 真公
16	岩渕上	西 有一郎
17	岩渕下	佐々木史郎

番号	行政区域	氏名
18	コスモス住宅	猪野 美帆
19	中島団地	吉田 伸二
20	比木	内野宮律雄
21	中川原	永友 公次
22	向河原立山	仲西 義満
23	中川原住宅	木村十三雄
24	町	杉村 哲則
25	平城	渡邊 淳子
26	在 南	本田 則行
27	岸立団地	児玉 圭介
28	湯屋ヶ坂	平木 節夫
29	横小路	妙光寺武久
30	立小路	神野 源生
31	御池	杉田 博
32	高城住宅	中竹多津子
33	下鶴	泥谷 繁
34	田神	橋口 英郷

番号	行政区域	氏名
35	岩戸	鍋倉 隆一
36	新岩戸	峰 清光
37	駄留	平木 昭博
38	仁君谷	桑原 尚弘
39	北山	小川 純夫
40	木寺	永友 鶴男
41	白木八重	永友 文法
42	川原	黒木 一洋
43	櫛野	黒木 君明
44	谷内	宮越 智利
45	上河内	篠原美知子
46	石河内本村	中竹 義一
47	鳥子	中竹 利男
48	中八重	黒木 廣光
49	中之又	中嶽 和弘

## 南九州大学との連携事業の成果発表会

平成 29 年 5 月 27 日（土） 木城町総合交流センター「リバリス」

本町では、平成 28 年度より南九州大学と連携し、地方創生に係る様々な分野で地域振興及び住民の福祉向上についての研究に取り組んでおります。その研究成果について、南九州大学の教授や学生からの発表会が開催され、約 100 名の参加がありました。

スポーツ合宿向けの食事メニューやひとり暮らし高齢者用弁当の研究、新たな特産品の開発などの成果が発表されました。平成 29 年度も連携事業を継続し、研究の成果をさらに活かしていく予定です。



成果発表の様子



スポーツ合宿向け食事メニューの中で紹介された  
ミルクレープ・もち（アスリートメニュー）

## 平成29年度 もちもち体験隊活動～田植え編～

～もち米ってどんなふうに見えるのかな？～

平成 29 年 5 月 14 日（日） 中椎木

農業委員会の遊休農地の解消事業の一環として、子供達に農業に親しんでもらう目的で、農業委員会、木城町農村女性アドバイザーの協力を得て田植を実施しました。木城小学校の 2 年生から 6 年生 18 名が参加しました。

子供たちは、農業委員会会長から田植の方法を教わった後、田んぼに一列に並んで、ロープの目印にあわせて田植を行いました。最初は慣れない様子でしたが、はだしで泥の感触を楽しみながら田植を行いました。次回は、すずめから稲を守るために 8 月に「かかし作り」を行う予定です。



## 木城町観光協会 事務所移転のお知らせ

6 月 1 日より、木城町の観光事業の強化・充実を図るため観光協会の事務局を独立・移転しました。

### 新事務所

木城町大字椎木 2170-1（コミュニティ広場内ログハウス）  
電話・FAX 32-3770

### 体制

会長 牛田 宏（御池）  
事務局長 萱嶋 了（立小路）  
事務局職員 河野 真弓（中椎木）  
地域おこし協力隊 神田 憲裕

また、観光協会会員を募集します。

### 1. 会費

- ◇個人会員 1 □ 2,000 円
- ◇団体会員 1 □ 10,000 円

### 2. 申込先

観光協会事務局又は、役場まちづくり推進課



金融機関	児湯農業協同組合 木城支所
□座名義	木城町観光協会 会長 牛田 宏 キジヨウチヨウカンコウキョウカイ カイチョウ ウシダ ヒロシ
□座種類	普通預金
□座番号	8021503

※口座振込をされる場合は右記の口座に入金をお願いします。

## 活力と潤いに満ちた生きがいと魅力あるまちづくり

### 第 42 回 木城町女性のつどい

町内の各種女性団体（商工会女性部・JA 児湯木城女性部・地域婦人連絡協議会）で構成されている木城町女性団体連絡協議会（会長：木城町商工会女性部長 近藤節子）主催で開催されました。

今回の内容は、室内のニュースポーツであるカローリング大会として、町スポーツ推進委員のサポートを得ながら行いました。参加した 63 名の女性の皆様の笑い声の絶えない盛り上がった大会となりました。



### みやざき県民総合スポーツ祭が開会しました!!

平成 29 年度みやざき県民総合スポーツ祭が宮崎市このはなドームで 6/3(土)に開会しました。県内のスポーツ愛好者が日頃の運動の成果を披露し、自己の記録と戦うスポーツイベントが今年も県内各会場で順次開催されています。

本町のスポーツ関係者も別表のとおり出場しています。それぞれの目標に向かって汗を流した皆様に心から拍手を送りたいと思います。

#### 平成 29 年度みやざき県民総合スポーツ祭本町参加選手

種 目	氏 名	種 目	氏 名
1	幸津 昭秀	20	剣道 鎌田 真樹
2	陸上競技 吉岡 雄輝	21	テニス 吉瀬 重嘉
3	泥谷 久光	22	自転車 斎藤 豊文
4	バレーボール 大平 良枝	23	空手道 長友 隆文
5	岩屋 香代	24	山下 捷夫
6	ソフトテニス 松尾 綾子	25	小松 實
7	松尾 洋介	26	グランドゴルフ 高橋 宗義
8	卓球 大峠 康之	27	永友 良子
9	泥谷 恭子	28	西 有一郎
10	弓道 石崎 宗夫	29	ソフトバレー 長友 美代子
11	久保 一美	30	堀口 信夫
12	ラグビー 平田 明則	31	四半的弓道 財津 和男
13	三谷 昇輝	32	池部 敬子
14	後藤 裕介	33	坂東 保子
15	平田 孝則	34	杉田 圭子
16	サッカー 長友 康隆	35	ミニバレーボール 黒木 すみ子
17	横田 優	36	佐伯 勝江
18	バスケットボール 日高 峻輔	37	押川 成代
19	押川 圭介		

# 水辺の宝石・トンボ 今森光彦写真展

2017年7月22日(土)～8月31日(木)



庭の訪問者



水辺の宝石+トンボ

木城えほんの郷の自然に共鳴する今森光彦さんの写真世界。水辺の生き物たちの、美しい生命の神秘が輝く世界。今森光彦さんの写真展をどうぞ、お楽しみください。

入場料 大人500円・小中高生300円  
(町内・会員は2割引)

## 今森光彦さんとやま むしむし合宿

2017年8月4日(金)～6日(日)

息をこらしてトンボをつかまえる一瞬  
にぎりしめたら死んでしまう  
ゆるめたら逃げてしまう  
木城えほんの郷の自然の中で  
ちいさな生命にふれる夏休み  
人と昆虫と植物たちのつながる生命のふしぎ  
写真家 今森光彦さんと共に感じる  
「里山むしむし合宿」  
夏休みのすばらしい時間を  
親子で過ごしにきませんか。

## 10歳のひとの旅

2017年8月17日(木)～21日(月)

### 青年ワークショップ

2017年8月14日(月)～17日(木)

自然の中で心とからだを開放し  
五感全部を使って  
人に出会い、自然に出会って  
共鳴する楽しさ  
あそび・おどり・うたう  
10歳のひとの旅  
わすれられない  
感動の旅をしてみませんか。

お問い合わせ・申し込み  
木城えほんの郷

〒884-0104 宮崎県児湯郡木城町石河内475

TEL 0983-39-1141 FAX 0983-39-1180 E-mail: ehon@kijo.jp

## 木城町の人口

(平成29年6月1日現在)

■人口: 5,158人(先月比+8人) 男: 2,408人(+2人) 女: 2,750人(+6人)  
■世帯数: 1,971世帯(先月比+2世帯) ■町面積: 145.96km<sup>2</sup>